

2026年度 試験問題

(2025年11月23日実施)

## 基礎学習能力

試験時間 60分

### 【注 意】

1. この問題冊子は指示があるまで開いてはいけない。
2. 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
3. 問題冊子の各ページの余白は自由に使用してよい。
4. 試験終了後、解答用紙は通路側に置くこと。なお、問題冊子は持ち帰ること。

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

これから社会研究をしようとする人々に、いきなり「方法論」を説くことにはある種のためらいがある。方法論を体得するということには一つの矛盾が含まれているからだ。この重要な点を、すでに 2400 年前にアリストテレス（前 384～前 322）が (イ) いみじくも 次のように概略表現している。

あることをおこなうためにはそれを前もって学んでいなければならないが、それが学ばれるのは実際におこなわれることによってである。ひとは建築することによって大工となり、琴を弾ずることによって琴弾きとなる（『ニコマコス倫理学』第二巻第一章）。

確かに、医学を勉強したから、すぐ医者になれるわけではない。多くの患者を診察し、沢山の症例を知ることによって一人前の医者になる。方法論を知ったからといって、すぐよい研究ができるわけではない。研究をすることによって、徐々に研究の仕方が分かってくるのだ。政治学や経済学を学んだからといって、現実の政治や経済が分かり、適切な政策をすぐ打ち出せるものではないということもこの点に関係している。物事には論理として理解することと、経験を通して少しずつ学ぶことがあるのだ。

また、自分が答えを探したいと思う問いを一つの命題として「定式化 (formulate)」し、そのために必要なデータを集め、データの質を吟味し、推論の手段（統計的手法か、文書資料か、フィールドワークか等々）を選んで実行していけば結論が得られ、研究は完了するというわけでもない。先行研究に、何を、どれだけ付け加えることができたのかを示す必要がある。さらに、得られた結論は常に暫定的な性格を持つから、後続の研究者たちによって修正が加えられ、より一般的な結論へと発展することを想定する必要がある。したがって、分かったことと分からないことをしっかり区別しなければならない。様々な試行錯誤（A）と改善のサイクルによって、次第に真実が明らかにされていくのが常である。

このように考えると、はじめから具体的な素材もないままで「方法論」を説くことは、外側だけが強そうな鎧を着た「張り子のトラ」を作るようなことになりかねない。したがって本章で述べることは、あくまで、社会研究を進める上での「一般的な留意点」であることを念頭に置いていただきたい。

国や社会の仕組みや動き方について少しでも理解を深めようとするとき、人はまず何に注目するであろうか。全体を一挙に見とることはできないから、その対象のどこに注目して観察するのかわらなければならない。しかしそのためには全体についてののぞきたい知識が必要になる。全体を知るには部分を知らなければならない。例えば、経済全体を知るためには個々の企業の行動様式を知ることが必要であるが、個々の企業の行動は経済全体の動きに規定される。これも (ロ) 一つの矛盾 のように見える。したがって何を、どう観察すればよいのか、それを選び出すのは言うほど易しいことではない。

(中略)

自分が関心を持った社会の一局面を知るためには、その場所へ行ってそこの空気を吸うことが一番であろう。もちろん、すべての分野にこのことが当てはまるとは限らない。知人のドイツ文学者は、生涯ドイツに行くことはなかったが、ドイツ文学の優れた翻訳と研究で同分野の研究者たちから尊敬されていた。人間であること (humanitas) に本質的な違いがないとすれば、人文学の場合にはそのようなケースはありうるだろう。

能因法師 (988～1050 ころ) は、「都をば霞とともに立ちしかど秋風ぞ吹く白河の関」と詠んだ。だが遠くの白河の関のことを都にいながら詠んだのでは説得力がないと考え、秘密裡に自宅で日に当たって日焼けして、「陸奥の方へ修行のついでによみたり」といってこの歌を披露したという (『十訓抄』)。この歌が絶賛されたのは言うまでもない。真偽のほどは分からないが面白い話だ。

それでも、地域研究 (regional studies) など、外国社会を研究する者にとって、その国の空気を吸うのはやはり必須であろう。「**B**」である。日本を知るには日本をくまなく歩くことが必要だ。昔の人文学や社会を研究する者は、「足で学んだ」といわれる。例えば、菅江真澄<sup>すがえますみ</sup>、柳田國男、宮本常一<sup>つねいち</sup>など、民俗学で重要な仕事を残した人は皆旅をして、その社会を観察しながら、試行錯誤を重ねつつ自分の仮説を打ち立てる「発見的な (heuristic)」手法を用いた。現代経済の研究にも現場に身を置くという精神はある程度必要だ。

**C** 対象が「日本」のように広くなればなるほど、「そこへ行く」ことの意味や益はキ (ハ) ハクになる。また、こうした丁寧な観察手法は、大きな誤りを防ぎ、リスクの少ない研究方法ではあるが、多くの時間とお金がかかり、現代ではなかなか実行しがたい。さらにその観察が、どれほど一般化できるのかが問題となる。特に巨大で複雑な構造を持つ現代の産業社会の問題を研究対象とする場合、個別企業における「観察」が、どれほど多くのケースに当てはまるのか、その意味が曖昧<sup>あいまい</sup>になるおそれがある。

(猪木武徳『経済社会の学び方』による。一部改変)

問 1 文中の下線部 (イ) の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 稚拙ながら                      ② 適切に                              ③ 大胆にも  
④ 冗長ながらも                      ⑤ 偶然にも

問 2 文中の下線部（ロ）の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 国や社会の制度の全体は非常に複雑であるにもかかわらず、とても単純な定式化ができるということ。
- ② 社会研究の一般的な留意点に注意を払うべきであるが、十分な注意が払われていないということ。
- ③ 全体を知るには部分を知らなければならないが、部分を知るには全体についても知らなければならないということ。
- ④ 政策の意思決定においては経済全体の動きを知る必要があるが、それは個別企業の行動を知ることによって達成されるということ。
- ⑤ 改善のサイクルは必要不可欠であるが、そのためには観察対象を適切に選定できるようになる必要があるということ。

問 3 文中の下線部（ハ）を漢字で書き表したとき、同じ漢字を含むものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 薄利多売                      ② 拍手喝采                      ③ 博学多才
- ④ 伯爵夫人                      ⑤ 経済白書

問 4 文中の空所 A に入る最も適切な英熟語を、次の①～⑥の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① touch and go                      ② now and then                      ③ give and take
- ④ trial and error                      ⑤ love and peace                      ⑥ body and soul

問 5 文中の空所 B に入る最も適切な語句を、次の①～⑥の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 鶏口となるも牛後となるなかれ
- ② 火中の栗を拾う
- ③ 身から出た錆
- ④ 百聞は一見に如かず
- ⑤ 覆水盆に返らず
- ⑥ 背水の陣

問 6 文中の空所 C に入る最も適切な語句を、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① しかし
- ② なぜなら
- ③ すなわち
- ④ このように
- ⑤ したがって

問 7 著者が本文で社会研究について述べている内容として最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 優れた研究とは後続の研究者から修正の入らない研究である。
- ② すべての研究者は研究対象を観察するために、現地に赴く必要がある。
- ③ 問いは定式化とフィールドワークによる推論で一般化される。
- ④ 方法論の体得には論理の理解と経験を通じた学びの双方が必要である。
- ⑤ 統計的手法はリスクの少ない手法であるが、コストがかさみ実行しがたい。

問題Ⅱ 次の表は、日本の若者の雇用者（young employee）について（ただし、会社などの役員を除く）、その雇用形態（正規または非正規の職員・従業員）の推移を5年ごとに示したものである。この表にもとづき、以下の各問に答えなさい。

（単位：人）

	男性・女性合計		男性		女性	
	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員	正規の職員・従業員	非正規の職員・従業員
1997年	10,702,000	1,999,000	(ア)	614,000	?	1,385,000
2002年	8,374,100	2,997,100	5,047,000	1,044,700	3,327,100	1,952,400
2007年	6,965,700	?	4,086,800	1,084,800	2,878,900	1,816,900
2012年	6,136,600	2,607,000	3,556,800	1,011,200	2,574,800	1,595,800
2017年	6,309,900	(イ)	3,554,800	782,700	2,755,100	?

（出典：総務省「若者の就業状況—4月の就職時期にちなんで—平成29年就業構造基本調査の結果から」。一部改変）

（注）若者とは、学校に在学中の者および在学したことがない者（未就学者）を除く20～29歳の人を指す。

問1 次の英文の空所Aに入る数値として最も適切なものを、後の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。

There were ( A ) young employees in Japan in 2007.

- ① 2,901,700    ② 4,086,800    ③ 6,965,700    ④ 8,834,600    ⑤ 9,867,400

問2 1997年における若者の雇用者全体のうち、男性の正規の職員・従業員の占める割合はおよそ50%であった。このとき、表中の空欄（ア）に入る数値として最も適切なものを、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 2,351,000    ② 4,351,000    ③ 5,351,000    ④ 6,351,000    ⑤ 7,351,000

問3 2017年における若者の女性の雇用者のうち、非正規の職員・従業員は2012年におけるそれより324,000人減少した。このとき、表中の空欄（イ）に入る数字として最も適切なものを、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 1,271,800    ② 1,919,800    ③ 2,054,500    ④ 2,702,500    ⑤ 4,026,900

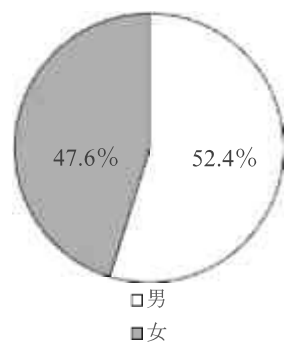
問4 2002年における若者の男性の雇用者のうち、非正規の職員・従業員の占める割合はおよそ何%か。最も適切なものを、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 17%            ② 21%            ③ 37%            ④ 57%            ⑤ 83%

問5 問1から問4までの条件のもとで、若者の雇用形態を表したグラフとして誤っているものはどれか。最も適切なものを、次の①～⑥の中から1つ選び、記号で答えなさい。

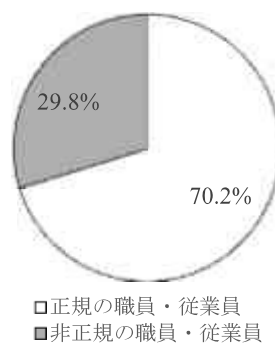
①

2007年における若者の雇用者の男女比率



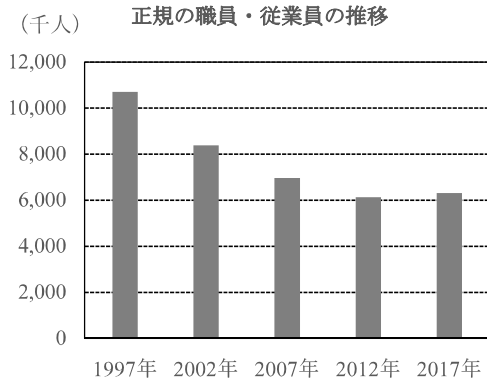
②

2012年における若者の雇用者の雇用形態比率



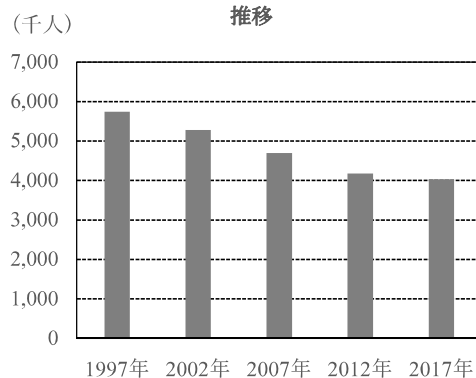
③

若者の雇用者全体のうち、正規の職員・従業員の推移



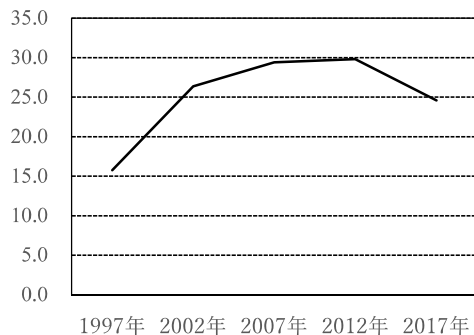
④

若者の女性の雇用者の推移



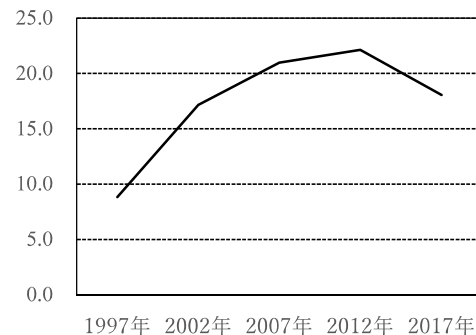
⑤

若者の雇用者全体のうち、非正規の職員・従業員割合の推移



⑥

若者の女性の雇用者のうち、非正規の職員・従業員割合の推移



問題Ⅲ 以下の各問に答えなさい。

問1 ある中学の同じクラスの生徒 A と B が、「英語」と「国語」の期末テストの点数を比べた。この2人の期末テストの点数について、a～cの3つの情報がある。ただし、この3つの情報はいずれも正しいとは限らない。

a:「英語」と「国語」の合計点はAのほうが高かった。

b:「英語」の点数も、「国語」の点数もどちらもAのほうが高かった。

c:少なくとも「英語」か「国語」のどちらかの点数は、Bのほうが低かった。

このとき、次の推論ア、イ、ウのうち正しいものはどれか。最も適切なものを、後の①～⑧の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア: a が正しいなら b も正しい。

イ: b が正しいなら c も正しい。

ウ: c が正しいなら a も正しい。

- ① アだけ                      ② イだけ                      ③ ウだけ                      ④ アとイ  
⑤ アとウ                      ⑥ イとウ                      ⑦ アとイとウ                      ⑧ いずれも誤り

問2 ある会社の社員 A, B, C, D, E の年齢について次のことがわかっている。

- ・ B の年齢は 32 歳である。
- ・ A, B, C, D, E の平均年齢は 28 歳である。
- ・ 全員 22 歳以上である。

このとき、A, B, C, D, E の年齢について確実に正しいといえるのはどれか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 5人の中での最年長者はBである。  
② Bより年齢が上の社員が少なくとも1人いる。  
③ 27歳以上の社員が2人以上いる。  
④ 最年少者は22歳である。  
⑤ 27歳より若い社員が少なくとも1人いる。

問3 ある大学の新生 231 名に、「日本史」、「東洋史」、「西洋史」の授業履修状況について尋ねたところ、次のことがわかった。

- 「日本史」を履修している学生は 160 名であった。
- 「東洋史」を履修している学生は 158 名であった。
- 「西洋史」を履修している学生は 138 名であった。
- 「日本史」、「東洋史」、「西洋史」のいずれも履修していない学生は 32 名であった。

このとき、「日本史」を履修していないが、「東洋史」と「西洋史」の両方を履修している新生は最大で何名か。最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 39 名      ② 41 名      ③ 61 名      ④ 71 名      ⑤ 73 名

問4 ある運動部では、ある大会に出場する代表の男子選手 2 名、女子選手 2 名を部員から選ぶ必要がある。この運動部の部員数は男子 8 名、女子 6 名の合計 14 名であるとき、代表選手 4 名の組合せは何通りか。最も適切なものを、次の①～⑤の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① 192 通り      ② 420 通り      ③ 672 通り      ④ 1001 通り      ⑤ 1680 通り

問題Ⅳ 以下の各問に答えなさい。

問1  $x = \frac{\sqrt{5} + \sqrt{3}}{\sqrt{5} - \sqrt{3}}$  ,  $y = \frac{\sqrt{5} - \sqrt{3}}{\sqrt{5} + \sqrt{3}}$  のとき,  $x^4y^3 + x^3y^4$  の値として最も適切なものを, 次の①～⑧の中から1つ選び, 記号で答えなさい。

- ①  $\frac{125}{81}$                       ②  $\frac{5\sqrt{15}}{8}$                       ③  $\frac{31\sqrt{3}}{2}$                       ④ 8  
⑤ 16                              ⑥ 64                              ⑦ 98                              ⑧ 2

問2  $x$ に関する2次方程式  $x^2 - 8mx + 16 - 24m = 0$  が重解  $x^*$  をもつとする。ただし, 定数  $m$  は整数であるとする。このとき, 定数  $m$  と2次方程式の重解  $x^*$  の組合せとして最も適切なものを, 次の①～④の中から1つ選び, 記号で答えなさい。

- ①  $m = -2, x^* = -8$                       ②  $m = -2, x^* = 2$   
③  $m = 4, x^* = 8$                               ④  $m = 2, x^* = 4$

問3 縦 2 m 56 cm, 横 1 m 60 cm の長方形の壁に, 1 辺の長さが  $x$  cm の同じ大きさの正方形の紙を加工せず, 重ねずにすき間なく貼りたい。ただし,  $x$  は整数であるとする。貼る紙の枚数をできるだけ少なくするとき, 以下の各問に答えなさい。

(1)  $x$  の値を整数で答えなさい。

(2) 貼る紙の枚数を整数で答えなさい。